

貴志南っ子

9月

平成28年9月1日



○夏休みが昨日で終わりました。子どもたちが命に関わるような大きな事故や病気がなく2学期を迎えられたことは本当にうれしいことです。教室・廊下・運動場など子どもの元気な声でいっぱい、学校が活気にあふれています。学校という入れ物に再び命が吹きこまれたかのようです。今朝の始業式では、「1学期に担任の先生からもらった『かがやき』の内容を思い出し、今日からの学校生活をどんなふうにしていきたいか、一人一人イメージしましょう。気分を一新し、リセットできる機会です。自分を変えるチャンスです。」と子どもたちに話しました。新たな気持ちで前向きな気持ちで4か月間がんばってほしいものです。学級によっては、2学期の目標を決めさせる学級もあることでしょう。ご家庭でも、ぜひお子様を励ましてあげてください。

○本校の子どもたちの大切な命に別状なく元気だったことはとても喜ばしいことです。しかし、その子どもたちの登校を長年、見守り続けてくれていた貴志地区の見守り隊の梅原貞晴さんが急病でお亡くなりになりました。本校では、毎年、第1登校日の夜に、見守り隊の方々と育友会の方々や学校職員とで子どもたちの安全についての懇談会を催しています。梅原さんが倒れたのは、奇しくも本校と同様に貴志小学校の見守り隊の方々との懇談の最中だったということです。その後意識が戻ることなく8月7日、ご逝去されました。この日は本校育友会の選手の方々が、家族や学校職員・育友会OBの応援の下、1部対抗のソフトボール大会の決勝で熱戦を繰り広げている真っ最中でした。

○梅原さんは貴志地区の連合自治会長の重責も負っておられましたが、土入にお住まいだったために、とりわけ本校の子どもたちには、見守りだけでなく、集会で戦争と平和の話や昔の貴志南の様子をお話しに来て下さったり、6年生に出前授業をしに来て下さったり、また、子どもたちがより安全に通学できるようにと行政に通学路整備を働きかけて下さいました。実に多くの本校児童に、陰になり日向になり関わって下さっていました。

○急逝だったためと夏季休業中だったために限られた関係者の方々にしかお知らせできなかったことをお詫び申し上げます。一緒にお参りした6年生児童会役員の男の子の「ぼく、卒業式の朝には梅原さんに『6年間ありがとうございました』と言おうと決めてたのに…」という言葉が今も頭から離れません。

○本校の子どもたちの命の見守りだけでなく、成長も見守っていただいたことに深く感謝し、心よりご冥福をお祈りいたします。
〈学校長〉